



高岡あっかり福祉ネット推進事業のモデル地区の指定について

高岡市では、総合計画第2次基本計画（平成24年度～28年度）の中で、新世紀創造プロジェクトのひとつとして高岡型地域福祉ネットワークづくりを進めることとしており、今年度より「高岡あっかり福祉ネット推進事業」をスタートさせた。

1 高岡あっかり福祉ネットモデル地区が始動

これまで地域福祉活動に先進的に取り組んでいただいている、定塚校下社会福祉協議会、成美校下社会福祉協議会、福岡町地域社会福祉協議会の3地区をモデル地区として指定し、高岡型地域福祉ネットワークが地域で動き出すことになった。

この3地区では、

- ・地域福祉を推進する組織（既存の組織の活用も含め）の明確化
- ・自治会役員、民生委員・児童委員、福祉活動員などの連携
- ・訪問ニーズ調査などによる地域の生活・福祉課題の洗い出し
- ・声かけ、見守り支援の充実
- ・地域住民の交流の機会や場の確保 など

を行ない、その地域の特性や地域課題に合った支援のしやすい体制づくりを進めることとしており、今後、こうしたモデル地区での事業内容を検証・評価し、平成28年度までに全地区への拡大を図る。

2 高岡あっかり福祉ネット推進事業の概要

(1) 地域支え合い体制づくり事業

住民にとって身近で日常生活上の活動範囲である小学校区を圏域として、地域における多様な福祉・生活課題を解決するために、自治会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、福祉活動員、高齢福祉推進員等が、それぞれの役割と地域の特色を活かしながら連携し、共に支え合う地域福祉ネットワークを構築する。

(2) 人材養成事業

地域福祉コーディネーター（^{ふくしおりびと}福祉織人）養成講座

地域福祉を担う人材を養成するための講座を開催する。

各校区社協から福祉織人の候補者41名を推薦いただき、6月13日に開講式及び記念講演（講師は富山県福祉カレッジ学長 大橋謙策氏）を開催した。

アクティブシニア養成講座

定年期を迎えた団塊の世代が有する豊富な経験と知識を地域福祉活動に活かすた

め、養成講座を実施する。

(3) 類型別（逆引き）福祉ガイドの作成

地域の福祉に関する相談等に活用いただける福祉ガイドブックを作成する。従来の分野別に福祉制度やサービス毎に配列されたガイドブックとは異なり、サービスの対象者や利用シーン毎に類型化し、利用しようとする人やその状況から、制度やサービスを検索できるよう編集する。

3 各モデル地区が取り組む内容とその方向性（予定）

定塚校下社会福祉協議会（会長 青井 利夫）

定塚校下福祉推進委員会（連合自治会役員、民生委員・児童委員、校下社会福祉協議会役員で構成）を新たに設立し、自治会毎において自治会長、民生委員・児童委員、福祉活動員が協力して、70歳以上の一人暮らし高齢者、80歳以上の高齢者夫婦、障害者を訪問しニーズ調査を実施する。

また、つどいの場としての「いきいきサロン」を開設するとともに、今までよりも小さなケアネットづくりに努め、声かけ・見守り体制の充実を図る

成美校下社会福祉協議会（会長 串田 則子）

校下各種団体連絡協議会を活用し、福祉活動員による校下34地区の高齢者を訪問しニーズ調査を実施する。ここで出た生活・福祉課題を、民生委員・児童委員、福祉活動員などが連携し解決を図る。

また、成美小学校の5・6年生をジュニア福祉活動員として委嘱し、一人暮らし高齢者を対象に訪問活動を行い、高齢者との交流と子どもの視点からのニーズ調査を夏休みに行う。

福岡町地域社会福祉協議会（会長 日和 祐樹）

昨年度の地域支え合い事業で実施した、中山間地の高齢者支援（買い物支援、除雪支援）を引き続き実施する。

また、福祉活動員、民生委員・児童委員等の支援グループの協力による見守り支援の充実を図るとともに、冬場に閉じこもりになりがちな高齢者に対し、集う場「にぎやか広場」を開設する。